

令和6年能登半島地震において、迅速に初動体制を構築し石川県へ職員を派遣。二次被害の防止や被災者の生活再建に寄与するとともに、復興まちづくり計画策定支援を実施中。

## 初動対応

### ■関係機関への情報収集 (1/1~)

発災直後から国交省・内閣府等の関係機関へメール連絡等による情報収集を開始し、支援要請の有無を確認

### ■リエゾン派遣

国交省北陸地整局災害対策本部へURリエゾンを派遣し、被害情報の収集を実施 (1/4~1/5)



北陸地方整備局内の様子

被災現場の確認を実施 (1/5~)



輪島市被災現場確認の様子 (1/19)

## 復旧

### ■建設型応急仮設住宅建設支援 (期間:1/15~9/30 職員:558人・日 (令和6年6月末時点) 派遣先:石川県)

建設着手段階から職員を派遣し、東日本大震災や熊本地震における支援経験を踏まえ、業務体制・フロー構築に係る支援を実施  
建設候補地・配置計画の確認調整、工事の進捗管理、金額精査等の技術的支援



完成検査の様子

### ■UR賃貸住宅の提供 (受付期間:1/17~ 契約件数:11件 (令和6年6月末時点))

甚大な住宅被害を受けた方を対象に、一時的な住まいとして、各種相談等に対応する「生活支援アドバイザー」を配置しているUR賃貸住宅300戸を用意し、希望者へ提供

### ■住家の被害認定業務支援 (期間:1/17~2/15 職員:55人・日 派遣先:石川県)

罹災証明書交付に向けた被害認定調査に係る助言を実施  
・効率的な調査判定方法の検討  
・各市町の判定基準に係る助言や進捗管理

### ■被災宅地危険度判定広域支援 (期間:1/5,2/12~21 職員:21人・日 派遣先:内灘町他2市町)

広範囲かつ複数の市町における液状化被害区域を対象とした宅地の危険度判定調査に係る支援本部や実施本部において、調査基準や進捗管理等の全体マネジメントを実施



支援本部打合せの様子



被災宅地危険度判定広域支援

応急仮設住宅建設支援

### ■復興まちづくり計画策定支援

国交省都市局リエゾンと共に、被災市町の意向確認や、URが実施可能な市街地整備支援メニューの提案等を実施  
また、令和6年4月16日に金沢市内に石川事務所を設置。7月からは能登の6市町の復興まちづくりを本格化していくため設置された「能登創造的復興タスクフォース」に参画するとともに、8月より、本社・現地事務所の体制を強化  
引き続き、被災市町からの要望に応じ、計画策定や合意形成に関する技術支援を実施



輪島市朝市工リーア